

お知らせ

『障害者のためのパソコン講座』

日時：7/22・29・8/5・19・26・9/2・9の全7日間 14:00～16:00

場所：ひこうせん事務所

参加費：¥7,000

申込締切：6月15日（金）締切

内容：『オリジナル作品を作ってみよう！』

デジカメで撮影をした写真を使って、オリジナルの署名はがきや名刺を作る。

今年度の共生ゼミについて

今年度の共生ゼミが、5月13日から始まりました。

今回の共生ゼミは今までとはやり方を変えて、A・Bの2つにグループ分けをして、Aグループは知的・身体・精神障害者の精神的サポートやアプローチの違いを、Bグループは障害者の恋愛・結婚・性・子育てなどの問題調査・研究をしたものを、2008年2月にシンポジウムでそれぞれ発表する予定です。

興味のある方の参加をお待ちしております！

編集後記

畠山 ゆかり

みなさま、いかがお過ごしでしょうか？

ひこうせんでは新体制となり、さらに活動の幅を広げています。今回の通信はニューフェイスの紹介で紙面がいっぱいになってしまったため、今回のPeople's Voiceはお休みさせて頂きました。

ご了承くださいませ。

五月病と言われる時期は、新しい環境に慣れてきたところで気象と体調なども関係するそうですが、気分転換やゆっくり休み、うつ病などにならず乗り切りたいものですね！

音楽を聴いたりアロマや入浴タイムにリラックスしたり・・・

自分だけの時間を作りましょう！

くれぐれも体調には気をつけてください。



ひこうせん通信 No. 13

2007年5月15日発行

編集・発行：NPO法人CILひこうせん

住所：〒361-0071 埼玉県行田市栄町22-5

電話：048-555-1100

FAX：048-555-1301

E-Mail：npo-hikousen@tgv.ne.jp

ホームページ：http://www.tvg.ne.jp/cil-hikousen/



2007度スタッフ&ダイケア利用者との記念撮影

「更なる発展に向かって」

理事長 木村 浩章

当法人もこの4月に、第4事業年度を向かえました。

これまでの3年間は基礎作りの期間として、設立当初に目標設定をしました事業を、予定通りに開始できました。

これも多くのみなさんのご協力・ご支援のおかげと深く感謝を致します。

これからの10年を「発展期」と位置づけ、10年計画に基づき現在、実施している事業を更なる充実と当法人が行田市を中心とした地域において、障害者福祉のオピニオンリーダー的な団体として地域に認知されるような「ひこうせん」にしたいと考えています。

そのためには、より多くのみなさんの力の結束が必要ですので、なお、一層のご協力、ご支援をよろしくお願い致します。

そして、みなさんで「ボーダレスな街・行田」を創りましょう！！

かがやきの会との共同イベント！

3月18日（日）教育文化センター『みらい』にて、かがやきの会主催『吉武まつ子とゆかいな仲間たち』コンサートが行なわれました。

今回のイベントでは、協力団体としてはポスターやビラ配布・チケット販売の広報活動と、当日はイベントの進行を行ない、ひこうせんの活動としてはロビーにて、鉢花やパネル・書籍販売と、田島隆宏さんの写真と杉浦淳子さんの絵画のパネルアート展を行いました。

当日はあいにくの空模様であったにもかかわらず、客足の方も順調で予定よりも早く開場となり、会場もほぼ満席な状態。

そして、いよいよ待ちに待った開演の時間！

市長挨拶の後、第1部であるかがやきの会メンバーによる歌が始まりました。

みんな一生懸命歌い、会場はひとつになりました。

そして、みなさんお待ちかねのメインイベントである、第2部『吉武まつ子とゆかいな仲間たち』が始まりました。

吉武まつ子さんの息子さんと共に、『千の風になって』やオペラ「トゥーランドット」より、『誰も寝てはならぬ』などを楽しいトークも交えながら、1曲1曲心を込めて熱唱をされていました。

また、コンサートの途中会場へ降りて客席のみなさんとふれあうなど、吉武さんの優しさも感じました。

コンサートも終盤になり、吉武まつ子さんへかがやきの会から感謝の気持ちを込めた記念品贈呈の後、会場からのアンコールの声に応えての熱唱をし、無事コンサートは終了しました。

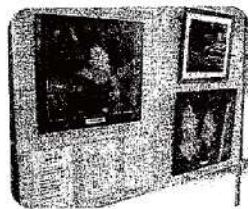
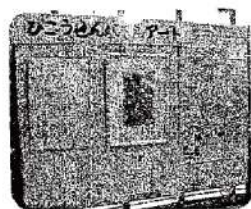
今回、かがやきの会との共同イベントは、ひこうせんにとっても初めての経験で勉強になることが多く、これからのイベントなどにも参考にしたいと思います。

また機会がありましたら、他団体との交流も深めていきたいです。

かがやきの会のみなさん、関係者の方々ありがとうございました。



みんなで記念写真♪



絵画&写真のパネルアート展

3年生を送る会に出席して涙！

晴天に恵まれた3月16日（金）下忍公民館にて、適応指導センター『ウイズ』での卒業生を送る会が行なわれ、ひこうせんからは、渉外部の2名が代表で出席させて頂きました。

当日の会は在校生が中心となり、手作りでとても感動する会となりました。

もちろん会場中は、終始あちらこちらから感動の涙が・・・。

当然私たちも、感動の連続でもらい泣きしてしまいました。

会は卒業生の入場から始まり、各先生からの贈る言葉や卒業生一人ひとりがこれからの抱負、先生・生徒全員での合唱というような流れで、会は進行していきました。

普段は私服などの時が多く、まだまだ子供のような印象でしたが、この日は制服姿で卒業生各自の抱負もしっかりとしていて、すごく大人らしく感じました。

ひこうせんとうイズとの関わりは今年の夏くらいからで、最初は障害者との接し方も分からずに悩んでいた人が多かったのが事実でしたが、バリアフリーウォッチングの下見で悪戦苦闘しながらも車イス介助をしたり、もちつき大会では食事介助などをしたりして、イベントごとに自然と触れ合えるようになりました。

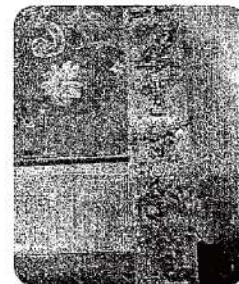
短い間ではありましたが、卒業生にとってひこうせんとの出会いは大きかったらしく、多くの生徒が卒業文集にもひこうせんとの思い出書いてくれて、嬉しく感じました。

もう1つ嬉しいことに、卒業生の中にはひこうせんや学童のお手伝いをしてくれる人もいて、これからがすごく楽しみでもあります。

4月からはそれぞれの進路へ歩んでいきますが、ウイズで学んだ大切な宝物と共に、勉強やこれからの夢や目標を実現出来るように、いろいろなことにチャレンジしてみてください。



長原先生から卒業生に、温かいメッセージ！



今泉さんの指導で卒業生が制作したウイズの看板

奈良 たんぽぽの家研修レポート

今泉 忍

研修日時： H19 4月11～14日
 研修場所： たんぽぽの家、CILフリーダム21、市内観光スポット
 参加メンバー： 木村浩章、田島隆宏、大塚則幸、鶴崎明宏、清瀬康太、齋藤貴美子、高橋和江、
 杉浦淳子、今泉忍、畠山ゆかり、山崎玲子、山崎昌克、石井健吾、新井真介 計15名

研修の日程

4/11 (水) なかまの家出発～たんぽぽの家到着
 4/12 (木) たんぽぽの家見学～奈良町と「ちろり」見学
 4/13 (金) フリーダム21見学～大仏見学
 4/14 (土) たんぽぽの家出発～なかまの家到着

昨年スタートしたデイケアここでは、鉢花、椎茸、野菜の販売とリサイクル事業などを行っていましたが、今年4月から敷地の広い南河原移転に伴い、アートやクラフトの創作を授産活動の加えようという方向になりました。

もしかしたら山下清のような隠れた才能を発掘して、ここはひとつ大儲け・・・という野望が・・・まあ、これは半分冗談としても、アートは利用者の可能性を広げますし、自分にあった作業、やりたい仕事などが選択できるという環境は大切ですので、まずはそうしたお手本を見たいということで、奈良の「たんぽぽの家」へ、見学に行きました。

●4月11日(水)

なかまの家を出発して、関越自動車道～東名高速、伊勢湾岸道～奈良市内アクセスのほとんどが高速道路であり、トラブルもなく市内に到着したものの、日が暮れて道に迷い、たんぽぽの家到着は20:00を過ぎてしまいました。

遅い時間にもかかわらず施設長成田さんが親切に対応してくれ、その後、それぞれの介助者とペアになって短期入所の部屋に宿泊しました。



・たんぽぽの家の近代的な外観、宿泊、短期入所、作業所とギャラリー、事務所の3つの棟からなっています。

●4月12日(木)

10:00から、アートセンターHANAの会議室＝多機能に使えるスペースにおいて、施設長成田さんからスライドを交えて、説明をしてもらいました。

たんぽぽの家では、アートプログラムとケアプログラム（療育により社会性、人間性を育む）、ライフプログラム（生活と直結した内容、あそびなど）がお互いに連携していること、もっと具体的に言えば、アート作業所、ギャラリー、学生や講習の実習の場、として様々な機能を持ち、またわたぼうしコンサートやりができ、それらがさらに様々な方面へとつながっていく といった福祉の風土づくりの拠点として機能していることが、何より興味深いと感じました。

また、素晴らしい施設や豊富な機材のほとんどが、民間の助成金や寄付などで賄われたことを聞きびっくり！これはもうデイケアでの作業内容といった以外にも、組織、各方面との連携、資金面など、運営全体において、ひこうせんとして各部が目標にする要素がたくさんありました。



作業所には、たくさんの機織機など、ためいきのするような機材の数々。こうした豊富な設備を、利用者が自分やりたいことに合わせて自由に使える環境がうらやましい限りでした。

午後からは、市内の奈良町という古い家屋や商店が多く残る一角を見学。

街並みは、そこかしこに歴史の風格、風情が感じられ「行田がこうなったらいいなあ」といった街づくりのお手本みたいな空間です。

さらにまた、その一角にたんぽぽの家の授産品を販売しているお店「ちろり」があり、これまたデイケアころのお手本になるような作品のオンパレード。

経費や売れ筋など、なまなましい会話をしつつ、「早急に授産品を確立しなければ・・・」と、ムズムズした次第です。

しかしながらこの奈良町・良く見るとそれぞれの家屋は相当に古く、地震があれば崩壊するのでは？と余計な心配も（その後すぐに、奈良に大きな地震があったけど大丈夫か？）。



奈良町にある「ちろり」では、オシャレな作品に出会いました。年齢や季節を問わず、手ごろな価格のものがよく売れるそうです。

●4月13日(金)

10:00市内にある「フリーダム21」という自立生活センターを見学。

スタッフの方から、これまでの経緯や活動状況などのお話を聞かせていただきました。

この団体は、障害当事者が中心となって運営をしているCIL(自立生活センター)で、ひこうせんに参考になるお話もたくさんありました。今後、奈良、行田という歴史をいかした福祉の街づくりといった面で、いづれいつに何かイベントなどができたらいいなあ と思います。

フリーダム21 から、市内のおすすめ観光スポットをたずねたところ、すぐ近くに「牧場」とカフェがあると聞き、さっそく行ってみました。

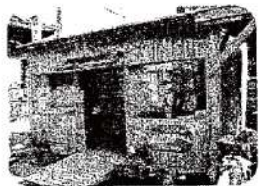
ここは、知的障害者を雇用しており、牛の世話やカフェでの仕事などで活躍しています。

絞りたてのミルクで作ったアイスクリームが、おいしかったのと、目の前にある般若寺の古のたたずまいが印象的でした。

その後、奈良と言ったら大仏 ということで、大仏観光に行きましたが、私個人的には、大仏そのものよりも、当時の(といっても何回も焼けてるので、いつの時代かは不明)宮大工が和クギを打ち損じた跡やら、生々しく補修した部分なんかが見つかって、妙にうれしくなった次第です。

理事長はと言えば、柱の中の穴抜けにチャレンジ・・・こういう狭い穴が大好物みたいです。

最後の夜は「夜遊び」に出かけたり、ゆっくりくつろいだりとそれぞれの夜を過ごしたのです。



牧場に併設されたカフェ「いちづ」にある小さなギャラリー。障害者の作品やパンフレットなどがコンパクトに展示してあり「こういうの欲しいなあ」と思っ



て写真に撮りました。ご存知大仏、境内はスロープやトイレもあり車イスでの見学に問題はなさそう？

ただし、駐車場が足りないし遠い、古い時代そのままの環境とバリアフリーとのバランスが難しそう・・・単なる怠慢かもしれないけど。

4月14日(土)

帰路は、再び高速道を帰り、なかまの家には18:00ごろ到着しました。

浜名湖LICで、湖を眺めながら食べたうなぎの「速弁」が、おいしかったです。



総勢は15名、サービスエリアでの休憩でも、全員が用を済ませると1時間くらいかかるため、余裕をもった行動計画が必要。

*奈良たんぽぽの家 の研修報告会を開催しますので、ぜひお気軽にどうぞ。

日時:5月30日 14:00~

場所:みらい、第1会議室にて

デイケア「こころ」通信

南河原デイケアこころ スタート!

施設長 今泉 忍

昨年4月より開設したデイケアこころも、皆様のご尽力と支援により、無事に1年間を過ごすことができました。ありがとうございます。

現在、ひこうせん事務所に併設されたスペース内で活動しておりますが、4月からは南河原の建物に移転し、広い敷地をうまく活かして授産活動を確固としたものとしてと考えています。

南河原デイケアの建物は、昔ながらの大きな民家で、太い柱と梁で作られた広い畳の部屋が中心です。母屋をはさんで、左右には作業所や作品の保管庫として十分に使える大きな倉庫もあります。

ただし、人が住まなくなって時間が経過して老朽化しており、かたづけと掃除、補修などが不可欠。デイケアの作業として、当面はこうした仕事を中心になるでしょう。

授産活動としては、現在、鉢花、椎茸、野菜の販売とリサイクル事業などを行っていますが、これらを継続するとともに、アートやクラフトの創作を加えようという方向になりました。

そして、「まずはお手本を」ということで、4月に3泊4日で、奈良の「たんぽぽの家」を見学してきました。

利用者自身の手によるすばらしい作品の数々と、こうした創作が授産活動として「収入になる」という事実にはびっくりし、羨ましいと感じました。

同時に、こうした活動を地域の人々や専門家との連携などによって、様々な人々を巻き込んで行っていることは、デイケアこころにとって大きなヒントと方向性を示唆するものです。

デイケア利用者には、写真や書などを趣味で楽しんでいる方も多く、こうした活動を製品にしたり、才能・・・と言うより、本人がやりたいことをうまく活かすことで、収入面とともに、地域の中に溶け込み、理解を深めてもらう活動をしてゆきたいと思っています。

将来は、作業所以外にカフェやギャラリー、車イスで泊まれる民宿、地域の芸術家のサロン、子どもたちの工作教室のワークショップ などいろいろな夢がふくらんできますが、とりあえずは利用者、スタッフとともに一歩一歩コツコツと確実に夢に向かって、歩んでいきますので、どうぞこれからもご理解とご支援をお願いいたします。

新住所 行田市南河原2626-1

電話 048-557-1706

平成19年度事業部の

活動経過報告

『企画開発部』

企画開発部長 橋崎 明宏

今年度より、『渉外部』は『企画開発部』へと変更になりました。

と言っても名前だけで、仕事内容は変わらないのですが・・・。

むしろ、仕事内容は増えたような気がするのは自分だけでしょうか・・・？

仕事内容の方と言うと、渉外部で行っていた仕事＋イベントの企画や新事業などの企画開発が主な仕事です。

これからも、よろしくお願いします！

『事業部』

事業部長 木村 浩章

今年度から、デイケア「こころ」、学童クラブ「きらきら」、生活ホーム「なかまの家」、レスパイト輪の4つの行政から認可を受けている事業を統合して「事業部」として組織を新たにしました。

昨年の8月から開始した学童クラブ「きらきら」が、今年度から埼玉県単独事業の「障害児学童クラブ」として認可される予定です。

このように3年前、ひこうせんが設立するときに目標にしていた事業が多くのみなさんのおかげで全て開始できたことになります。

また、デイケア「こころ」の拠点を南河原に移転し、そこをアート（芸術）的な作業をする場にする計画です。

そのために障害者アートの先駆的な活動している、奈良県にある「たんぼの家」を4月11日から14日までの4日間視察に行きました。

この「たんぼの家」は、全国的に有名な「わたぼうしコンサート」を実施している団体で、約20年前に「行田わたぼうしコンサート」が開催しました。

その時のボランティアが集まり、現在のひこうせんの前身であるボランティアグループ「ひこうせん」を設立しました。

各事業に関わる利用者の方々の、それぞれのニーズに即した支援をよりしていきけるよう、他の部署と連携を深めながら、更なる充実をした事業にしたいと考えております。

なお、一層のご支援をよろしくお願いします。

『総務部』

総務部長 齋藤 貴美子

福利厚生の上を語る

ひこうせんも設立満3周年を迎え、これまで出来なかった職員の福利厚生の制度の中で、社会保険をこの4月から開始します。

法人であれば社会保険は加入が義務づけられていますが、基盤が不十分であったため、未加入のままでした。

この加入にともない、ひこうせんの負担は増えますが、社会的責任を果たすべく、必要な経費の支出に耐えられる組織へと改編していきます。

社会保険加入という、法人として果たすべき社会的責任を果たすことによって、ひこうせんも本格的に事業の安定と拡大を目指すことができるようになります。

これまで設立以降の不十分な福利厚生の状態にもかかわらず、惜しみない労働をしてくださった職員の方々に深く感謝申し上げます。

また、今年からデイのメンバーも各部に所属することになり、清瀬さんと高橋さんのお二人も総務部の一員として一緒に業務をやっていただいています。

みんなで力を合わせて総務の仕事を行っていきます。

よろしくお願いいたします。

『派遣部』

派遣部長 田島 隆宏

利用者の皆さん、PAGを利用いただき、本当にありがとうございます。

また、アシスタントの皆さん、PAGの仕事いつもご苦労様です。

先日私は、ある利用者の方に「毎回楽しい派遣をありがとうございます」と言われました。

その言葉を聞いたとき、とっても私は嬉しくなりました。

そして、もっと頑張ろうと思いました。

こんなふうになれたのも皆さんのおかげだと思います。

これからも皆さんの声援・ご指導を、よろしくお願いいたします。

きらきら便り

施設長 猪山 輝男

昨年の8月、夏休みより開所しました学童保育きらきらも、関係者のたゆまぬ努力により、利用者の児童数も定員真近という状況にまでこぎ着きました。

まだまだ利用者の方々から見れば、足りない所も多々あると思います。

利用者が安心して学童を預けることが出来るように、今後も関係する方々のご意見やご忠告を取り入れつつ、利用する方達が安心して、満足していただける様、努力していきたいと思っております。

また、施設として不備の所や不足の備品等があると思いますので、順次折を見て修正や補正をしていきたいと思っております。

更にヘルパーの方達もまだ学童保育に慣れていない面もありますので、お互いに意見交換等をしながら、より良い学童保育が出来る様努力していきたいと思っております。



きらきらスタッフ



春休みで学童大パニック!?



へび君と仲長し〜♪



ぼく、可愛い?

ひこうせん 新組織図

第4事業年度

NPO法人CILひこうせん・PAG 組織図

		部	事業	具体的な活動内容	部長	副部長	職員	デイケアメンバー	
ひ こ う せ ん	理事長 木村 浩章 副理事長 斎藤貴美子 事務局長 田島 隆宏 理事 竹田満喜子 杉浦 英俊	企画開発部	開発	新規事業開発	猪崎 明宏	大塚 則幸	島山 ゆかり	細野 直子 類池 亜希子 金子 昌代	
			助成金獲得	民間助成金申請					
			対外折衝	行政・他団体					
			広報	会報					
			教育研修	共生ゼミ			杉浦 英俊		
				バリアフリーワークショップ					
				シンポジウム					
				パソコン教室					
		自立促進	I L P	石井 健吾 (アルバイト)					
			ピアカウンセリング						
	事業部	生活ホーム	なかまの家	木村 浩章	管理 山崎 玲子	鎌田 由香			
		小規模作業所 (デイケア)	こころ		施設員 今泉 忍	高橋 信昭、渡見知也、 水上綾香、山中明香、 原口めぐみ			
		学童保育	きらきら		管理 猪山 輝男	高橋 けい子	荒金 亜美		
		生活サポート事業	レスバイト輪		現場 田中 ひろみ	内田 由利江	西尾 みゆき	富田 有美子	
	監事 田口 紘恵 渡辺 功三	総務部	職員管理	採用	斎藤 貴美子	齋藤 洋子	新 ひより	清瀬 康太 高橋 和江	
				給与					
				福利厚生					
			施設管理	施設・資産管理					
			文書管理	ファイリングシステム					
			助成金獲得	公的助成金申請					
			会計	現預金管理					
				決算					
P A G	取締役 斎藤貴美子	派遣部	介助派遣	居宅介護支援事業所(介保)	田島 隆宏	鈴木 尚美	杉尾 みゆき		
				指定居宅介護支援事業所(支援員)					
				登録アシスタント採用					
			アシスタント養成研修	ガイドヘルパー					
				内部研修					
			自立生活相談	自立生活相談室「キムヒロ」		木村 浩章			
			請求事務	介助料他		坂田 真由美			藤木 健二
			文書管理	ファイリングシステム					

新スタッフ&デイケア

4月2日の晴天の下、デイケア『こころ』&ひこうせん合同の入所式が、ひこうせん事務所で行なわれました。

今年は、デイケアの利用者6名&ひこうせんスタッフ3名（アルバイト1名）の新メンバーが入り、今後の活動が楽しみです！

今回は、ひこうせん新スタッフ&デイケア利用者の代表者2名に一言コメントを頂きました。

みなさん、よろしくお願いします。

高沢 紀子

初めまして！

この度、4月から「ひこうせん」デイケア「こころ」のスタッフになりました高沢紀子です。

物作りが大好きで、細かな作業やコツコツやる仕事が好きで、とまではいきませんが、日曜大工からビーズアクセサリー作りまで、自分で出来そうな事は何でもチャレンジしてやっていきます。

失敗も多々ありますが・・・。

これからわからないこともあるかと思いますが、皆さんに教わりながら“チャレンジ精神”でたくさん作品を皆で作れ、頑張っていきたいと思いますので、宜しくお願いします。

西尾みゆき

この度、新しく職員になりました西尾みゆきです。

まだまだ新米で、学ばなければいけない事もありますが、これからはたくさんの方にいろいろ教えていただき、ひこうせんと共に自分自身も成長できるように一生懸命努力していきたいと思っております。

宜しくお願いします。

石井 健吾

今年度より、企画開発部の職員（アルバイト）として働かせていただく事になりました。

まだ学生のため毎日出勤はできませんが、ひこうせんの力になれるよう頑張ります。



2007年度デイケア&ひこうせん入所式の様子

利用者から一言！

よろしくお願いします！

類地 亜希子

私は、この4月から『デイケアこころ』で働くことになりました、類地亜希子です。

仕事の方は主に、企画開発部の仕事をしています。

私は0歳～5歳まで、群馬県太田市にある太田病院の小児病棟というところで、ずっと入院生活をしていました。

その後、熊谷市（旧妻沼町）にあります妻沼幼稚園に1年間だけ入っていました。

幼稚園を卒業してからは、熊谷市にあります泰小学校へ3年間通っていましたが、3年生になると教室も2階になってしまい、階段の登り降りを母親にやってもらうのも大変になり、4年生からは昨年度まで通っていましたが埼玉県立熊谷養護学校に移り、毎日楽しい生活を送ることができ、また仲の良い友人にも出会うことができて、とてもよかったと思っています。

そして、その友人とは卒業した後も『デイケアこころ』で一緒に働くことになり、嬉しく思っています。

一生懸命頑張って仕事をして行こうと思っておりますので、どうぞよろしくお願いします。

よろしくお願いします！

金子 昌代

私は、3月に熊谷養護学校を卒業して、4月からは『デイケアこころ』で働いている金子昌代です。

仕事は類地さんと一緒に、企画開発部の仕事をしています。

少しだけ自己紹介をしますと、住んでいる所は行田市内で、好きな色は水色・オレンジ色です。

趣味は、音楽を聴く事です。

仕事はもちろんですが、みんなと楽しいおしゃべりなどもしていきたいです。

パソコンの仕事は、色々な事があって少し難しいけど、頑張りたいです。

やってみたい事は、色々なイベントなどの事に参加して楽しくしたいです。

これから、みんなと楽しく色々な仕事をしていきたいと思います。

よろしくお願いします。





あっと！キミコ

第4回 『おもしろきこともなき世をおもしろく！』

齋藤 貴美子（副理事長）

このフレーズは、NHKの「その時歴史は動いた」のもう一度聞きたい言葉の第1位になった高杉晋作の言葉です。

幕末の新しい世を作るのに一役買った高杉晋作のこの言葉が2万人の投票の1位だったということです。この言葉には、今を生きる私たちにも通じる斬新な感覚があります。

ひこうせんも、正にこの言葉を地地道道としています。

これまでの3年間で基礎作りを終了、これからは築いた基礎の上に、ひこうせんの目的達成のための事業をじっくりと展開し、発展させていきますが、その際のコンセプトはいかにおもしろいことをやるのかということです。

おもしろいことであれば、誰でも一生懸命になれます。

みんなを巻き込んでいくことができます。

積極的にプロジェクトにかかわっていきます。

「おもしろい」というのは、「遊び」ということではありません。

もちろん、遊びの要素もあるでしょうが、充実感とか興味・関心の高いことを指します。

「おもしろい」と思えることをやりながら、それが仕事になり、関わる人のしあわせにもつながったり、地域を変えたり、活性化させたり、そしてそれがまた面白さと呼ぶ、そんな「おもしろい」ことを基準にすえて、これからの発展期を作り上げていく。

「おもしろきこともなき世をおもしろく」するのは、他ならないわたしたち自身なのです。

そういう「おもしろきこともなき世をおもしろく」するひこうせんと、ひこうせんの事業を作っていきます。



みんなの声

利用者の声

二階堂 一人

P. A. G.を利用して3年程になる。

それまでは10年程、市役所のホームヘルパーに家事援助を頼んでいた。

市のヘルパーにはいい加減な仕事をする人がいたが、P. A. G.にはそんなヘルパーはいない。私もだんだん、老人と言われる年齢に向かっていく。

頼りになるのは、ホームヘルパーだ。

そこでこれから先も、ずっとP. A. G.のお世話になろうかと思っている。

アシスタントの声

坂田 真由美

アシスタントとして仕事に入る時は、利用者様が不安になるような言葉遣いや態度は決してしないように、プロなんだから！と送り出されてから、2年が過ぎようとしています。

未だに、わからないことがあったら利用者様にお聞きし、困った時は、サービス提供責任者や先輩アシスタントに相談しながらの介助ですが、コミュニケーションの大切さ、自分勝手な判断をしない等たくさんのことを学んできました。

人との出会いの楽しさ、そして介助という仕事の奥の深さを実感できるゆとりも少しできてきて、いつでも、どこのお宅でも入れるアシスタントを目指して、頑張っていきたいと思っています。

